

日本語学習者の発話における補助動詞「～てしまう」の使用特徴

— 談話の構造を中心に —

簡卉雯(国立台湾海洋大学)

1. はじめに

第2言語としての「～てしまう」の習得について、初級段階から教科書に導入されているが、上級日本語学習者にも使いこなすのが難しいことが報告されている(棚橋 1996)。習得が困難になる原因、「～てしまう」の習得過程、及び日本語学習者の母語との関わりなどに関しては、まだ明らかにされていないところが多い。また、「～てしまう」は話し言葉的な文脈の中で多く用いられており、話し言葉的表現のベースとなる会話の考察が重要であると指摘されている(中山 2015; 丸谷他 1998)。本発表は日本語の補助動詞「～てしまう」が使用される談話の構造に注目し、英語、韓国語及び中国語を母語とする日本語学習者発話コーパスを用い、日本語母語話者との相違を比較しながら使用特徴を検討することを目的とする。

2. 先行研究

第2言語としての「～てしまう」の習得に関する研究には棚橋(1996)がある。棚橋(1996)は「～てしまう」の「遺憾」と「完結」の2つ用法の使用状況と使用環境に注目し、英語を母語とする日本語学習者を対象に、ストーリー・テリングの発話テストを行った。分析の結果、滞日期間及び学習期間が長いほど「～てしまう」の使用頻度と適切さが増加すること、日本語母語話者の多くが「被害の受け身」と共起させている一方、日本語学習者にはその傾向は見られなかったことが報告されている。しかし、実際の会話で、日本語学習者がどのような文脈の中で、どのように「～てしまう」を用いて表現するのか、母語に関わらず共通する使用傾向が見られるのか、日本語母語話者とどう異なるのかに関しては、未解明のままで、さらなる検討が必要である。本発表は日本語学習者コーパス「KY コーパス」と日本語母語話者コーパス「インタビュー形式による日本語会話データベース(「上村コーパス」)」という2つのコーパスを用い、「～てしまう」が使用される談話の構造に注目し、日本語母語話者の使用と比較しながら、日本語学習者の使用特徴を把握することを目的とする。

3. 調査

3.1 「～てしまう」の用法分類

「～てしまう」の用法分類について、本発表では「～てしまう」を「アスペクト的な意味」と「感情・評価的な意味」の2つの用法に分け、そのうちの「感情・評価的な意味」は「対抗的」、「遺憾」、「非意図」と「間主観」の4つの下位分類を行った。それぞれの定義については、守屋(1994)、一色(2011)と簡(2018)を参考し、以下の(1)に示したように定義を下した。

(1) 「～てしまう」の用法分類

ア. 「アスペクト的な意味」:

- a. 「完結」: 一連の動作が最後まで行われることを表す。

例: 太郎がカードを配ってしまうと、皆はそれを一斉に手に取った。(一色, 2011: 203-205)

イ. 「感情・評価的な意味」:

- a. 「対抗的」: 動作主体が強い意図のもとで動作を完結することに、話者の表現意図が置かれる場合に生じる意味である。

例: こうしていないで、宿題をやってしまおう。(守山, 1994: 57)

- b. 「遺憾」: 動作主体が意志を持って行為を行い、あるいはコントロール不可能な状況下で行為を行い、その結果話し手が自分にとっては好ましくないと否定的に捉える傾向が高いことを表す。

(一色, 2011: 205-209)

例：バスに忘れ物をしてしまいました。

- c. 「非意図」：動作主体のコントロール不可能な状況下で行為が行われるということを表す。感情・評価的な意味が薄い。 (一色, 2011 : 209-211)

例：スワンボードがあると、つい写真を撮ってしまう。今もっとも暑い被写体のひとつ (知らんけど) 。 (宮田珠己 『晴れた日は巨大仏を見に』; 一色, 2011 : 210)

- d. 「間主観」：聞き手に対する「言い訳」や「照れ隠し」や「配慮」を表す話し手が「てしまう」を付加して行為の意図性を軽減させることにより、意図的にその行為を行った印象を弱め、その行為に対する反省の念を聞き手に伝わることを表す。

例：A：誰？パソコンの電源、勝手に切ったのは

B：すみません…、私がさっき切ってしまいました。 (一色, 2011 : 211-215)

3.2 データ

本発表はOPI方法によりデータ収集が行われた日本語学習者発話コーパス「KY コーパス」と日本語母語話者コーパス「インタビュー形式による日本語会話データベース（「上村コーパス」）」という2つの発話コーパスを分析に使用した。「KY コーパス」には英語、中国語、韓国語を母語とする日本語学習者それぞれ30名（初級5名、中級10名、上級10名、超級5名）、計90名分の発話データが収録されている。日本語学習者の使用状況と比較するため、「KY コーパス」における各レベルの学習者の人数に合わせ、「上村コーパス」から無作為に10名の母語話者発話データのみを抽出し、対照資料として分析に用いた。

分析方法としては、「KY コーパス」と「上村コーパス」から「～てしまう」が使用された動詞を抽出して、3.1で述べた「てしまう」の用法分類に基づき、抽出された「てしまう」を「完結」、「対抗的」、「遺憾」、「非意図」と「間主観」の5つの用法に分類した。抽出の段階で、用法分類が曖昧な用語と日本語学習者による誤用を対象外とした。なお、「てしまう」の音韻縮約形「ちゃう」は「てしまう」と運用面において、微妙に違いがあるかもしれないが、本稿では同等に扱うものとした。

4. 結果と考察

4.1 用法別から見た「～てしまう」の談話構造の使用特徴

コーパスの中の「～てしまう」が現れた談話をの談話の構造を、中山(2015)を参考して、特徴をまとめ、以下の(2)に示した4種類に整理し、類型化を行った。

(2) データからまとめた談話の構造の種類 (中山2015を参考)

1. 因果関係：
 - ①「原因（結果に至る理由説明）－結果」
 - ②「条件－帰結・望ましくない結果」
2. 「事態や事情の説明－結論」
3. 理由説明：「事態や事情の説明－謝罪・補償」
4. その他：大きなまとまりが見出せないもの

「～てしまう」の用法別に談話の構造種類ごとに表1のようにまとめた。表1から次のことが観察された。まず、日本語母語話者では、「～てしまう」の間主観の用法を除き、残りの4つの「てしまう」の用法において、「因果①：「原因（結果に至る理由説明）－結果」の構造で因果関係を表わす発話が連なっている場合が多く観察された。この調査結果は中山(2015)が『名大会話コーパス』より採取した「～てしまう」用例の談話構造を分析した結果と一致している。

一方、日本語学習者では「～てしまう」の各用法において、違う母語話者の間に「事態説明：事態や事情の説明－結論」という構造で発話のやりとりを通して出来事を説明して結論を出す場合が共通に最も多く、それに「因果②：「条件－帰結・望ましくない結果」の関係で発話の連なりは「遺憾」の用法に多く確認された。日本語母語話者と日本語学習者とは「～てしまう」の談話構造の使用に異なるところが多いことが見られた。

表1 被験者による「～てしまう」用法別の談話の構造種類

	使用 数合 計	完結			遺憾				間主 観	非意図				対抗		
		因 果 ①	因 果 ②	事 態 説 明	因 果 ①	因 果 ②	そ の 他	事 態 説 明	理 由 説 明	因 果 ①	因 果 ②	事 態 説 明	そ の 他	因 果 ①	因 果 ②	事 態 説 明
日本 人	63	<u>9</u>	0	5	<u>13</u>	7	0	2	<u>13</u>	<u>6</u>	0	0	0	<u>5</u>	2	0
英語 話者	37	0	1	<u>4</u>	3	<u>6</u>	2	5	0	1	1	<u>8</u>	3	0	1	<u>2</u>
中国 語話 者	20	0	2	<u>5</u>	1	<u>3</u>	0	4	0	2	2	0	0	0	1	0
韓国 語話 者	22	1	0	<u>4</u>	3	<u>5</u>	0	2	1	0	1	<u>3</u>	0	1	0	1

(注：数字は「～てしまう」使用数を表わす；因果①：「原因（結果に至る理由説明）－結果」；因果②：「条件－帰結・望ましくない結果」；事態説明：「事態や事情の説明－結論」；理由説明：「事態や事情の説明－謝罪・補償」)

4.2 談話の構造から見た「～てしまう」の使用特徴

4.2.1 因果関係を表わす構造「因果①」と「因果②」について

例文(3)は日本語母語話者による因果①：「原因（結果に至る理由説明）－結果」の使用例である。「因果関係」を表わす談話において、日本語母語話者では結果に至る理由を連続した文で説明して、「～てしまう」で帰結する場合が多く見られた。一方、日本語学習者では違う母語話者の間に「因果②：「条件－帰結・望ましくない結果」」の構造で「因果関係」を述べる発話が連なっている場面が多く確認された。例文(4)は中国語を母語とする超級日本語学習者による使用例である。例文(4)に示したように、条件を表わす文型と共起して、因果関係を語る構造である。「連続した文」のほうが使いやすいと思われるにもかかわらず、学習者がやや難しい条件を表わす文型を用いて、「因果関係」を述べる傾向があった。

(3) 語学留学っていうことで、行ったんで、やっぱり、なにか、する一、時に、／人との関係がうまくいかなくても全部、言語に結び付けてしまったから、それで、一番自分で語学が駄目だって思い込んでるんだと思うんですけども。やっぱり、風土が違えば、ご、言語だけじゃなくて、他に、人のかかわり合い方とか、文化の違いがあつて、うん、そういう面で苦労したんでしょうけど。
(日本語母語話者 I. O. (F))

(4) OPI テスター：そうですか、あのう、夜とかはどうですか、やっぱり一遅く帰ったり一すると、門限とか設けますか。
学習者：そうですねえ、やっぱり、うーん、その制限がなければ、うーん、子供にも、どんどん、こうエスカレートしちゃうから、(うん)それはやっぱりあの作ると思います。
(学習者 CS05)

4.2.2 「理由説明」の構造について

「理由説明：事態や事情の説明＋謝罪・補償」の構造は、日本語母語話者による「～てしまう」の「間主観」の用法の文脈に多く用いられることが観察された。例文(5)は日本語母語話者の使用例であり、謝罪の場面で、以下の流れで謝罪ストラテジーを用い、話を進んでいく。まず、「風邪を引いて、約束した通りに一緒にテニスをする事ができない」と理由状況を説明し、「ごめんなさい」と謝罪を表明し、責任の承認及び故意ではなかったことを説明したうえ、「一週間ずらして」などの補償を提案した。「間主観」の用法は聞き手に対する「配慮」を表すものであり、学習者データに1例のみが観察されたことから、学習者にとって習得しにくい用法であると考えられる。

(5) えと、本木あやこです。今日、テニスのお約束をしていましたけれども、風邪をひいてしまい、行けなくなってしまうました。えと、ごめんなさい。1週間ずらして、あの、同じ、火曜日の10時に、あ、して、して頂けるとありがたいんですか、場所は同じえと、井口コミュニティーセンターのテニスコートでよろしいでしょうか。ご都合が悪かったらご連絡ください。
(日本語母語話者 A. M. (F))

4.3 レベル別から見た「～てしまう」の使用特徴

日本語母語話者では「因果①：「原因（結果に至る理由説明）－結果」の関係で発話が結びついている談話が多く観察された。そこで、日本語レベルと「因果①」との関係について調べたところ、日本語レベルの上昇に従い、「因果①」使用数が増える傾向が見られなかったことが母語の異なる学習者の間に確認された。「因果①」の習得が化石化しており、習得が進まない可能性がある。この点についてさらにデータを集めて検討する必要がある。

5. 結論

本発表は日本語の補助動詞「～てしまう」が使用される談話の構造に注目し、英語、韓国語及び中国語を母語とする日本語学習者発話コーパスを用い、日本語母語話者との相違を比較しながら使用特徴を検討し分析を行った。分析した結果、「～てしまう」の談話構造について、日本語母語話者では「間主観」を表わす談話を除き、殆どの談話には、「原因（結果に至る理由説明）＋帰結・結果（てしまう）」の構造で因果関係を表わす発話が連なっている場面が多く観察された。それに対して、日本語学習者では「完結」と「非意図」を表わす談話においては、「事態や事情の説明＋結論（てしまう）」の構造で、「遺憾」を表わす談話においては、「条件（と/ば/たら）＋帰結・結果（てしまう）」の構造で、発話のやりとりを通して出来事を説明して結論・結果を出す場面が多かった。

参考文献

- 一色舞子 (2011). 日本語の補助動詞「～てしまう」の文法化：主観化、間主観化を中心に 日本研究, **15**, 201-221.
- 簡卉雯 (2018). 日本語学習者の発話における「てしまう」の使用実態：日本語母語話者と比較 *Learner Corpus Studies in Asia and the World*, **3**, 177-187.
- 棚橋明美 (1996). 英語を母語とする日本語学習者による「～てしまう」の使用について 言語文化と日本語教育, **12**, 24-33.
- 中山富子 (2015). 補助動詞「～てしまう」の考察：談話の構造に注目して 昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究, **10**, 1-19.
- 守屋三千代 (1994). 「シテシマウ」の記述に関する一考察 早稲田大学日本語研究教育センター紀要, **6**, 49-70.
- 丸谷しのぶ・和栗雅子・寺内弘子・菊池周子・法貴則子・梅岡己香(1998). 「てしまう」はどのような表現か—その「心理側面」について— 留学生日本語教育センター論集, **24**, 東京外国語大学, 119-131.